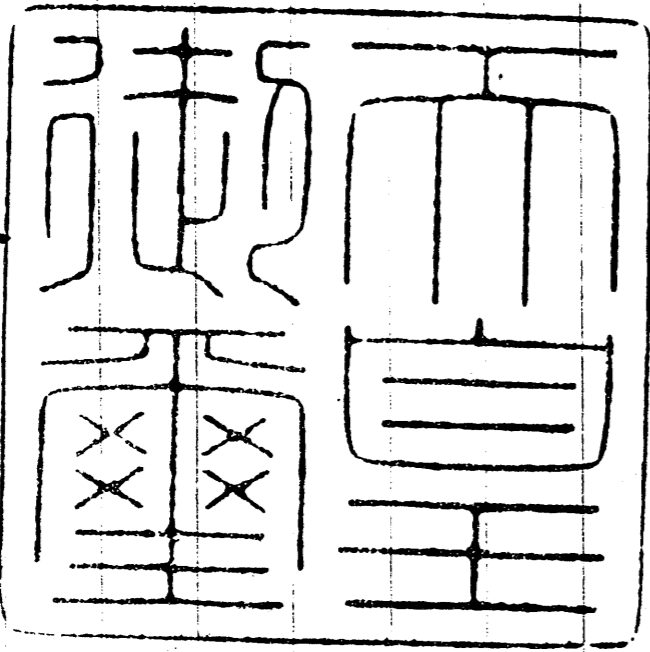


勅令第四百八十九號

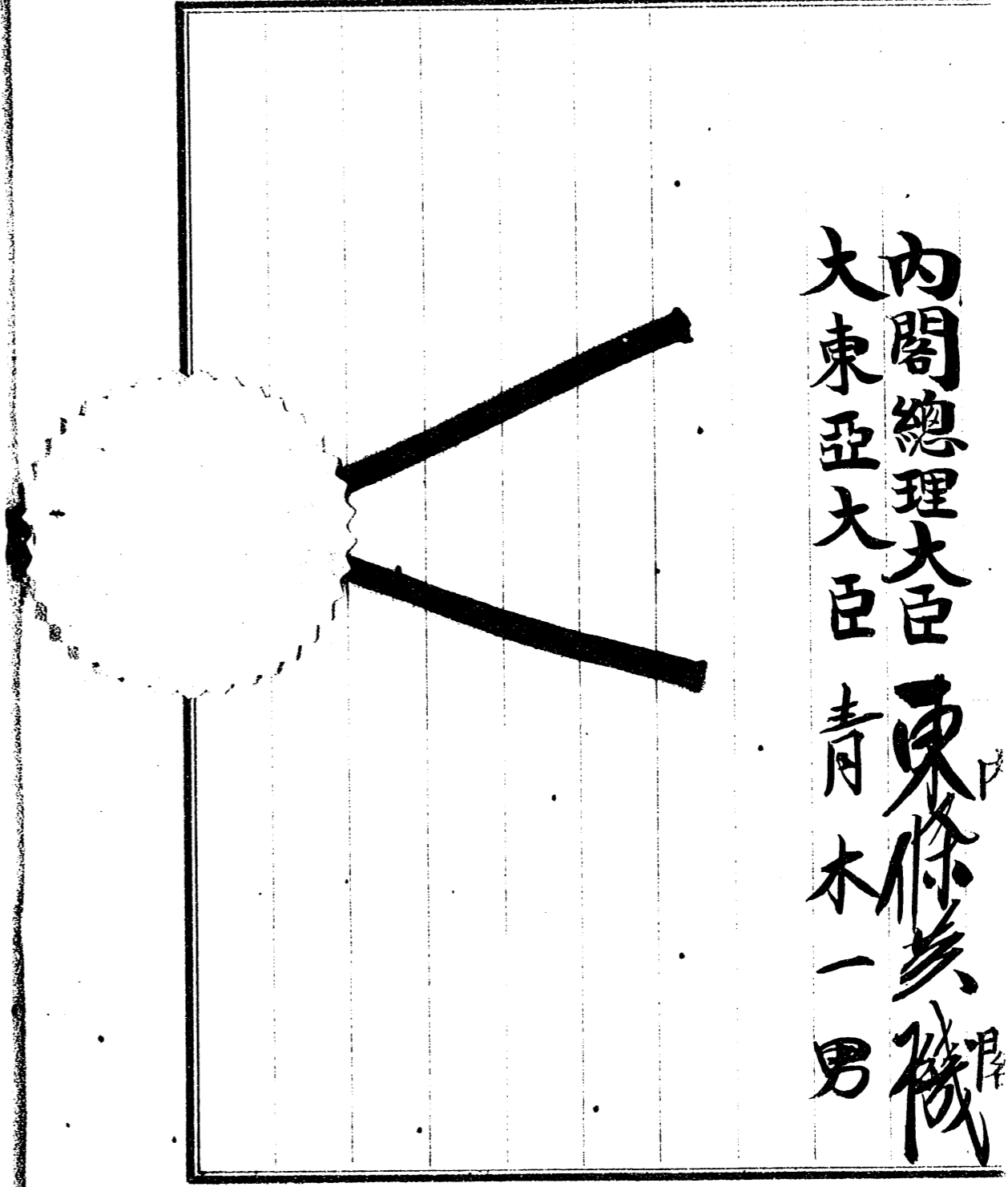
朕關東州勞務調整令ヲ裁可シ
茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十八年六月八日

内閣總理大臣 東條英機
大東亞大臣 青木一男



勅令第四百八十九號

關東州勞務調整令

第一條 國家ニ緊要ナル事業ニ必要ナル勞務ヲ確保スル爲ニスル
關東州國家總動員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國家總動員法(以
下國家總動員法ト稱ス)第六條ノ規定ニ基ク從業者ノ雇入、使
用、解雇、就職及退職ノ制限ハ本令ニ又ハ別ニ定ムルモノヲ除
クノ外勞務調整令ニ依ル也。同令第一條、第六條、第八條、第
十一條及第十八條乃至第二十條ノ規定ハ此ノ限ニ任ラズ。
勞務調整令中國家總動員法トアルハ關東州國家總動員令ニ於テ
依ルコトヲ定メタル國家總動員法、學校卒業者使用制限令トア
ルハ關東州學校卒業者使用制限令ニ於テ依ルコトヲ定メタル學

附、附

校卒業者任用制限令、厚生大臣トアルハ滿洲國駐劄特命全權大使、地方長官トアルハ關東州廳長官、滿民職業指導所長トアルハ關東職業指導所長、滿民職業指導所トアルハ關東職業指導所、及道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノトアリ又ハ國及道府縣トアルハ國、市及會、或又ハ道府縣トアルハ國、市又ハ會、道府縣トアルハ市又ハ會、或又ハ道府縣トアルハ國、市又ハ會、了者、第四條、第六條又ハ第七條トアルハ第四條、第七條又ハ關東州勞務調格令第二條トス

第二條 本令施行後關東州ニ於ケル滿民學校（以下滿民學校ト稱ス）ノ高等科ヲ修了シ又ハ公學堂ノ初等科若ハ高等科若ハ普通學堂ヲ修了シ若ハ中途退學シタル後二中ヲ經過セザル男子ニシ

テ技能者タラザルモノ（以下初等學校修了者ト稱ス）ノ雇入及就職ハ關東職業指導所ノ紹介ニ依ルニ非サレバ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ國、市及會ニ於ケル雇入及就職ノ場合並ニ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 勞務調整令第七條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニハ之ヲ適用セズ

- 一 勞務調整令第五條第二號ノ場合
- 二 國、市及會ニ於ケル一級青年壯年ノ雇入及就職ノ場合
- 三 其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合

第四條 滿民學校ノ初等科若ハ高等科、公學堂ノ初等科若ハ高等科又ハ普通學堂ニ學中ノ者ヲ雇入レ其ノ若ガ滿民學校ノ高等科、

附、附

公學堂高等科若ハ普通學堂ヲ修了シ若ハ公學堂初等科ヲ修了シ
公學堂高等科ニ進學セザル場合又ハ公學堂ノ初等科若ハ高等科
若ハ普通學堂ヲ中途退學シタル場合引續キ其ノ爲ヲ雇傭スル場
合ニ於テハ第二條ノ規定ノ適用ニ付テハ其ノ爲方國民學校ノ高
等科、公學堂ノ高等科若ハ初等科若ハ普通學堂ヲ修了シ又ハ公
學堂ノ初等科若ハ高等科若ハ普通學堂ヲ中途退學スル時ニ於テ
新ニ雇人レ及就職スルモノト看做ス
年齢十四年未滿ノ者ヲ雇人レ引續キ其ノ者ヲ雇傭スル場合ニ於
テハ勞務調整法第七條ノ規定ノ適用ニ付テハ其ノ者ガ年齢十四
年ニ達スル時ニ於テ新ニ雇人レ及就職スルモノト看做ス
事業主其ノ雇傭スル從業者ニ付工場、事業場其ノ地ノ使用ノ場

所間ニ所屬ノ移轉ヲ行フ場合ニ於テハ本令ノ適用ニ付テハ後ノ
使用ノ場行ニ於テ新ニ雇人レ及就職スルモノト看做ス
第一項及第二項ノ場合ニ於テ命令ヲ定ムル所ニ依リ新ナル雇人
ニ關シテ第二條若ハ勞務調整法第七條ノ規定ニ依ル認可又ハ第二
條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ依ル認可ノ申請アリタルトキハ
其ノ申請ニ對スル認可又ハ不認可ノ處分アル時ニ新ニ雇人レ及
就職スルモノト看做ス
第五條 第二條及前條第一項ニ於テ國民學校ノ初等科若ハ高等科
又ハ公學堂ノ初等科若ハ高等科トアルハ關東州ニ於ケル之ニ準
ズベキモノト含ム

附 則

本令施行ノ期日ハ大使之ヲ定ム

内閣